

職務経歴書

記入しないでください。

(1枚中 1枚目)

選考区分	受験番号	氏名
福祉職(経験者)		神奈川 諒

1 学歴(高等学校から最終学校までを古い順に記入してください)

学校区分	学部科名	在学期間	区分
大学院・大学・短大・専門学校・ 高校 ・その他()	普通科	2001年 4月から 2004年 3月まで	卒・卒見込 修了・修了見込
大学院(大学)・短大・専門学校・ 高校 ・その他()	人間社会学部心理学科	2004年 4月から 2008年 3月まで	卒・卒見込 修了・修了見込
大学院・大学・短大・専門学校・ 高校 ・その他()			卒・卒見込 修了・修了見込
大学院・大学・短大・専門学校・ 高校 ・その他()		年 月から 年 月まで	卒・卒見込 修了・修了見込
大学院・大学・短大・専門学校・ 高校 ・その他()			卒・卒見込 修了・修了見込

担当職務をできるだけ詳しく具体的に記載してください。

2 職歴(6か月以上勤務した経歴を古い順に記入してください)

勤務先(法人名)	部署名	在職期間	在・退	職位・職名	具体的職務内容
◆○児童相談所	養護科	2008年 4月 1日から 2012年 3月 31日まで 在職 年 月 日	在 退	正規職員	一時保護幼児・児童の生活、保育支援及び行動観察、短期治療的支援等
◆○児童相談所	子ども支援科	2012年 4月 1日から 2016年 3月 31日まで 在職 8年 0か 月 0日	在 退	副主任	児童の福祉に関する調査、措置及び相談援助等
○×相談支援事業所		2016年 5月 1日から 2020年 3月 30日まで 在職 3年 10か 月 30日	在 退	主任	障がい者の自立に向けた計画立案、業務全般に関する統括等
		年 月 日から 年 月 日まで 在職 年 月 日	在 退		
		年 月 日から 年 月 日まで 在職 年 月 日	在 退		

同一勤務先で部署名が変更し、担当業務の変更があった場合、別の欄に記載してください。部署名のみの変更で、担当業務に変更がない場合は、職務経歴を通算して記載してください(旧部署名は括弧書きで記載してください。)。また、育児休業等により、在職中に3か月以上職務に従事していない期間がある場合も、その期間を除き別の欄に記載してください。

勤務予定日まで記載してください。

業務変更・転勤・転職等で、旧勤務先と新勤務先の在職期間が間断なく続く場合は、合算した在职期間を新勤務先の「在職」欄に記載してください(旧勤務先の「在職」欄には何も記載しないでください。)

端数日数の換算は、「通算在職期間」欄で行いますので、在職の日数が30日以上となる場合でも、「在職」欄では換算しないで記載してください(記載例のような場合は「3年11か月0日」ではなく「3年10か月30日」と記載)。

通算在職期間(複数枚の場合は最後のページに全ての期間を通算して記入してください)

(A) 月初から月末まで勤務していた月の通算期間	+	(B) 各在職期間の端数日数の合計 (30日を1か月と換算。さらに1か月未満の端数が生じたときは、その端数は1か月とみなします。)	=	(A) + (B)
11年10か月		30日→1か月		11年11か月

3 資格、免許、業績・受賞歴、論文、特許等

時期	資格・業績等名称	内容(資格以外の場合は、その内容を記入してください)
2005年 3月	普通運転免許	
2008年 3月	社会福祉主事任用資格	「在職期間」の「在職」欄に記載した「年」と「か月」をそれぞれ合計した値を記載してください(「か月」の合計が12以上となった場合は「年」に換算。(A)+(B)欄も同じ)。
2019年 4月	所長表彰	「在職期間」の「在職」欄に記載した「日」を合計した値を記載し、「30日を1か月と換算…」により換算した値を「か月」欄に記載してください。
年 月		